

科目名	論理国語	単位数	4単位	学年	2年	コース	進学文系	必修
教科書	探求 論理国語(桐原書店)							
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・探求論理国語準拠予習復習ノート・大学入試頻出漢字2500・ちくま文学講読上級編							
授業の到達目標	実社会で必要な国語の知識や技能を身に付ける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
授業内容・進め方	様々な分野の評論文、実用的な文章を取り上げ、読む力、書く力を養う。複数文章の読み比べや、副教材を使用しての小説読解など、表現方法についても幅広く学ぶ。プレゼンテーションやレポート作成、小テストで理解を深める。小論文は2回実施し、分析力・記述力を伸ばす。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト等							
	【思考・判断・表現】 定期考査・発表(プレゼンテーション)の内容と過程・レポート等							
	【主体的に学びに向かう態度】 振り返り・相互評価・行動観察等							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:4:1を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	評論文「いのちは誰のものか?」(鷺田清一)【要旨の把握】					
			小説「晴れた空の下で」(江國香織)【解釈の深化】					
	5月	考査実施	「書く」ことへの挑戦—小論文を書く【小論文①】					
			小説『山月記』(中島敦)【多様な観点】					
	6月	/	論文「変身に伴う快樂と恐れ—「山月記」を通じて」(宮原浩二郎)【解釈の深化】					
プレゼンテーション								
7月	考査実施							
(2学期)	9月	/	実用的な文章5 「全国高校生「四字熟語」総選挙」プレゼンテーション					
			評論文「ロボットは心を持つか」(黒崎政男)【論拠の検討】					
			評論文「そもそも心とは何か」(石黒浩)【情報との関連】					
	10月	考査実施	コラム「人工知能を通して人間を考える」					
			評論文「「もどかしさ」の融合」(佐佐木幸綱)【具体例の働き・効果的な表現】					
11月	/	評論文「「物語」としての伝統」(西江雅之)【接続表現・見解の根拠】						
		評論文「足跡」(原研哉)／評論文「創造としての本歌取り」(渡部泰明)【見解比較】						
12月	考査実施	実用的な文章4 「観光地紹介を書く」プレゼンテーション						
(3学期)	1月	/	「書く」ことへの挑戦—問いを生む【小論文②】					
			小説『こころ』(夏目漱石)【多様な観点】					
	2月	/	論文「淋しい人間—「こころ」を通じて」(山崎正和)【解釈の深化】					
レポート								
3月	考査実施							

科目名	古典探究		単位数	3単位	学年	2年	コース	進学文系	必修
教科書	精選 古典探究(大修館書店)								
副教材・参考書	古語辞典・学習ノート・トータルサポート新国語便覧・完全マスター古典文法・書き込みながら覚える古典文法ワークノート・わかる・読める・解けるKey&Point 古文単語330・基礎から解釈へ漢文必携・漢文必携チェックノート基本編								
授業の到達目標	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、作品を読むことを通して、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。								
授業内容・進め方	教科書を中心に授業を進める。その際、質疑応答や小テストを行い、理解度を深めていく。また、主体的な活動を通して他者との意見や考え方の違いを確認し、客観的視点を養う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)								
	【思考・判断・表現】定期考査等、パフォーマンス等(発表等の態度・内容・過程、論述の成果物)								
	【主体的に学びに向かう態度】振り返り(自己評価・他己評価)、行動観察								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5 :4 :1 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月		古文:『十訓抄』『大江山いくのの道』◎用言の復習・和歌の修辞						
	5月	考査実施	漢文:故事成語「塞翁馬」◎訓読・書き下し文・句法						
	6月		古文:随筆『枕草子』『中納言参りたまひて』◎三大随筆・敬語入門						
	7月	考査実施							
(2学期)	9月		古文:随筆『徒然草』『家居のつきづきしく』◎三大随筆・助動詞 古文:物語『大鏡』『競べ弓』◎助詞・助動詞・敬語・時代背景・人物関係						
	10月	考査実施							
	11月		漢文:史伝『史記』『鴻門の会』(一)◎時代背景・人物関係・句法 漢文:史伝『史記』『項王の最期』(一)◎時代背景・人物関係・句法						
	12月	考査実施							
(3学期)	1月		古文:物語『源氏物語』『光源氏の誕生』◎助動詞・敬語・人物関係						
	2月								
	3月	考査実施							

科目名	地理探究		単位数	4単位	学年	2年	コース	進学文系	選択
教科書	『地理探究』 二宮書店								
副教材・参考書	『高等地図帳』(1年次購入済)・『地理探究ワークブック』								
授業の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。								
授業内容 ・進め方	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。								
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価						
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価						
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価						
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境						
			①地形						
	5月	考査実施	②気候と生態系						
			③世界各地の自然と生活						
	6月	/	④日本の自然環境と防災						
⑤地球環境問題									
7月	考査実施								
(2学期)	9月	/	第2章 資源と産業						
			①農林水産業						
	10月	考査実施	②資源・エネルギー						
			③工業						
	11月	/	④第3次産業						
第3章 人・モノ・金のつながり									
12月	考査実施	①交通・通信							
(3学期)	1月	/	第4章 人口、村落・都市						
			①人口						
	2月	/	②村落・都市						
			第5章 文化と国家						
	3月	考査実施	①生活文化と言語・宗教						
②国家とその領域									

科目名	日本史探究		単位数	4単位	学年	2年	コース	進学文系	選択		
教科書	『詳説 日本史』(山川出版社)										
副教材・参考書	『詳説日本史図録』・『一問一答日本史』・『要点整理ゼミナール日本史』等										
授業の到達目標	1.日本史の学習を通して、国際社会に生きる市民として自国への理解を深め、将来に生かすことができる力を養う。 2.単なる知識量だけではなく、思考力・分析力等の育成を目指し、論述力も高め、次年度の大学入試に向けた実践力を養う。										
授業内容 ・ 進め方	教科書の内容をふまえたうえで、歴史的思考力を高めながら自ら判断する機会を取り入れた講義形態やグループワーク等で実施。 適宜、副教材や視覚教材等を使用し、プリント作業・小テスト・演習・パフォーマンス課題等を行う。										
観点別評価の方法	【知識・技能】		定期考査・小テスト等による評価								
	【思考・判断・表現】		定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価								
	【主体的に学びに向かう態度】		パフォーマンス課題・振り返り等による評価								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	第1部 原始・古代								
			第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり / 2 農耕社会の成立								
			第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 / 2 飛鳥の朝廷								
			第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道								
	5月	考査実施	2 平城京の時代								
			3 律令国家の文化								
			4 律令国家の変容								
			第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 / 2 国風文化								
	6月	/	3 地方政治の展開と武士								
			7月								
			7月	考査実施	第II部 中世						
					第5章 院政と武士の躍進 1 院政のはじまり / 2 院政と平氏政権						
第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 / 2 武士の社会											
3 モンゴル襲来と幕府の衰退 / 4 鎌倉文化											
10月	考査実施	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 / 2 幕府の衰退と庶民の台頭									
		3 室町文化 / 4 戦国大名の登場									
		11月	/	第III部 近世							
				第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 / 2 桃山文化							
第9章 幕藩体制の成立と展開											
1 幕藩体制の成立 / 2 幕藩社会の構造											
12月	考査実施	3 幕政の安定 / 4 経済の発展 / 5 元禄文化									
		第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 / 2 宝暦・天明期の文化									
		1月	/	3 幕府の衰退と近代への道 / 4 化政文化							
				第IV部 近代・現代							
第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱											
2月	/			3月							
		3月	考査実施								

科目名	世界史探究	単位数	4単位	学年	2年	コース	進学文系	選択
教科書	『詳説 世界史』(山川出版社)							
副教材・参考書	『世界史・NEW・STAGE世界史詳覧』・『詳説世界史授業用整理ノート』等							
授業の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
授業内容 ・ 進め方	歴史総合の内容を土台に、さらに世界史に関する知識を深める。復習や実践問題を通して、生徒自身が新たな発見をするように「学習→関連付け→更なる知識の獲得」となるよう、世界史の内容を幅広く取り扱う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、調べまとめる技能を身に付けるように							
	【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したり、議論したりする力を養う。							
	【主体的に学びに向かう態度】 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:3:2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		第1章 文明の成立と古代文明の特質					
	5月	考查実施	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界					
			第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開					
	6月		第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成					
	7月	考查実施	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成					
(2学期)	9月		第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向					
	10月	考查実施	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開					
			第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国					
	11月		第9章 大交易・大交流の時代					
	12月	考查実施						
(3学期)	1月		第10章 アジアの諸帝国の繁栄					
	2月		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向					
			第12章 産業革命と環大西洋革命					
	3月	考查実施						

科目名	数学Ⅱ		単位数	4単位	学年	2年	コース	進学文系	必修
教科書	数研出版 高等学校 数学Ⅱ								
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅱ+B								
授業の到達目標	座標平面上に図形を方程式として表現すること、また、式から図形をグラフとして表現できるようにする。様々な関数を解析し、処理するための基盤を構築する。数学と様々な学問を積極的に結び付け考える姿勢を身に着ける。文系学問に必要な数的処理能力を習得する。								
授業内容・進め方	3. 図形と方程式 4. 三角関数 5. 指数関数と対数関数 6. 微分法と積分法 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。(1. 式と証明 2. 複素数と方程式 は1年次に履修済み)								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題								
	【思考・判断・表現】 定期テスト								
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第3章 図形と方程式			第1節 点と直線			
						第2節 円			
	5月	/	第3章 図形と方程式			第2節 円			
						第3節 軌跡と領域			
	6月	/	第4章 三角関数			第1節 三角関数			
	7月	/				第1節 三角関数			
(2学期)	9月	/				第2節 加法定理			
	10月	/	第5章 指数関数と対数関数			第1節 指数関数			
	11月	/				第2節 対数関数			
	12月	/	第6章 微分法と積分法			第1節 微分係数と導関数			
(3学期)	1月	/				第2節 関数の値の変化			
	2月	/				第3節 積分法			
	3月	/							

科目名	数学B		単位数	2単位	学年	2年	コース	進学文系	必修	
教科書	数研出版 高等学校 数学B									
副教材・参考書	4プロセス 数学 II+B									
授業の到達目標	数列の法則を発見、解釈、処理する能力や、統計的な推測を通し、処理する能力を身につける。より発展的な分野を学習し、様々な数学的な現象をも記述できるような表現力を身に着ける。数学と他の学問との関連性を積極的に考える姿勢を身に着ける。文系学問に必要な数的処理能力を習得する。									
授業内容 ・ 進め方	1. 数列 2. 統計的な推測 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。入試問題などの総合的な演習にも取り組む。									
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題									
	【思考・判断・表現】 定期テスト									
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト									
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする									
授業スケジュール										
(1学期)	4月	/	第1章 数列		第1節 等差数列と等比数列					
	5月	/	/	/		第1節 等差数列と等比数列				
				/						
	6月	/	/	/		第2節 いろいろな数列				
	7月	/	/	/		第2節 いろいろな数列				
(2学期)	9月	/	/		第3節 漸化式と数学的帰納法					
	10月	/	/	/		第3節 漸化式と数学的帰納法				
	11月	/	/	第2章 統計的な推測		第1節 確率分布				
	12月	/	/	/		第1節 確率分布				
(3学期)	1月	/	/		第2節 統計的な推測					
	2月	/	/	/		第2節 統計的な推測				
	3月	/	/	/						
				/						

科目名	物理基礎		単位数	2単位	学年	2年	コース	進学文系	必修
教科書	物理基礎(数研出版)								
副教材・参考書	高校物理基礎サブノート(実教出版)								
授業の到達目標	物理的な事物、現象についての関心や探究心を高め、科学的に探究する能力を育てるとともに、基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。								
授業内容 ・進め方	1、物理の基本的原理を実際の物理現象と関連づけさせ、生徒の自然への興味、関心を高める。 2、物理実験を通して、結果からの考察を追究させ、生徒の物理学的探究心を深める。 3、身近な物理現象について意見交換をさせ、テーマについて考えさせることで科学的思考力を高める。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。								
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、探究課題等により評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、提出物等により評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4:4:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月		第1章1節 運動の表し方						
	5月	考査実施							
	6月		第1章2節 力と運動の法則						
	7月	考査実施							
(2学期)	9月		第2章1節 運動とエネルギー						
	10月	考査実施	第2章2節 熱						
	11月		第3章1節 波とは何か						
	12月	考査実施	第3章2節 音波						
(3学期)	1月		第4章1節 物質と電流						
	2月		第4章2節 磁場と電流						
	3月	考査実施	第5章1節 エネルギーとその利用						

科目名	体育(男子)	単位数	2単位	学年	2年	コース		進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)										
副教材・参考書											
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。										
授業内容 ・ 進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。										
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。										
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。										
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	体づくり運動								
			新体力テスト								
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)								
	5月	/	器械運動(マット運動)								
6月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(キャッチボール、バッティング)									
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)									
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)								
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)								
11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)									
12月	考査実施	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)								
(3学期)	1月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(攻撃・守備練習、ゲーム)								
	2月	/	陸上競技(長距離走)								
3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)									

科目名	体育(女子)		単位数	2単位	学年	2年	コース		進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)											
副教材・参考書												
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。											
授業内容 ・ 進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。											
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けているか。											
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。											
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。											
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする											
授業スケジュール												
(1学期)	4月	/	体づくり運動									
			新体力テスト									
			陸上競技(短距離走・リレー、長距離走)									
	5月	/	器械運動(マット運動)									
6月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(キャッチボール、バッティング)										
7月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)										
(2学期)	9月	/	球技 ネット型 ソフトテニス(1対1、攻防練習、審判法、ダブルス説明)									
	10月	/	球技 ネット型 バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)									
11月	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)										
12月	考査実施	/	球技 ネット型 バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)									
(3学期)	1月	/	球技 ベースボール型 ソフトボール(守備・攻撃練習、ゲーム)									
	2月	/	陸上競技(長距離走)									
3月	/	球技 ネット型バレーボール(ゲーム中心)										

科目名	保健		単位数	1単位	学年	2年	コース		進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)											
副教材・参考書												
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。											
授業内容 ・ 進め方	健康について単なる知識理解にとどまらず、個人の適正な意思決定や行動選択ができるように、それぞれの単元の主概念を教科書中心に学習する。 基礎基本である知識を身につけ、考えることを主体に展開する。											
観点別評価の方法	【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けているか。											
	【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力が養われているか。											
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。											
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする											
授業スケジュール												
(1学期)	4月	/	3章 生涯を通じる健康									
			1. 思春期と健康									
			2. 性意識の変化と性行動の選択									
			3. 結婚生活と健康									
	5月	/	4. 妊娠・出産と健康									
			5. 家族計画									
	6月	/	6. 加齢と健康									
			7. 高齢社会に対応した取り組み									
7月	/	8. 働くことと健康										
(2学期)	9月	/	9. 労働災害の防止									
			10. 働く人の健康づくり									
			4章 健康を支える環境づくり									
			1. 大気汚染と健康									
	10月	/	2. 水質汚濁・土壌汚染と健康									
			3. 健康被害を防ぐための環境対策									
	11月	/	4. 環境衛生に関わる活動									
			5. 食品の安全性と健康									
12月	/	6. 食品の安全性を確保する取り組み										
(3学期)	1月	/	7. 保健制度とその活用									
			8. 医療制度とその活用									
			9. 医薬品の制度とその活用									
	2月	/	10. 様々な保健活動や対策									
			11. 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり									
	3月	/										

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位	学年	2年	コース	進学	必修
教科書	MY WAY English Communication II 三省堂							
副教材・参考書	MY WAY English Communication IIワークブックStandard、Target 1900、What's up for SDGs							
授業の到達目標	別紙英語科Can-do statementに依る。教科書本文等のReading及びListeningで内容を理解し、学んだことを基にSpeaking[やりとり]を実践することでより深い学びに繋げる。授業でのアクティビティやパフォーマンステストを通じて、理解したことを自分の言葉で伝える発信力を養う。							
授業内容 ・進め方	予習を前提とし、教科書本文を基にコミュニケーションを図る態度の育成を目指す。本文の内容理解の確認を筆記や発語で行ったり、重要表現の解説を行い、英語を通じた思考力・判断力・表現力を養う。『ターゲット1900』を利用して単語テストを行い、語彙力強化を図る。							
観点別評価の方法	【知識・技能】基礎的な知識を学び、定期考査及び各テストで定着度を評価する							
	【思考・判断・表現】自分の考えを英語で述べる力をつけ、定期考査及びパフォーマンステスト等で評価する							
	【主体的に学びに向かう態度】授業及び家庭学習での取り組み等を参考に、主体的な学習への取り組みを評価する							
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4:4:2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	Lesson 1 Dances Around the World					
	5月	考査実施	Lesson 2 Katsura Sunshine－Making the World Laugh					
			リスニングテスト					
	6月	/	Lesson 3 Living with Nature－Takita Asuka's Journey					
			Lesson 4 Sesame Street パフォーマンステスト(音読テスト)					
	7月	考査実施	リスニングテスト					
夏休み学習指導								
(2学期)	9月	/	夏休み課題確認テスト					
			Lesson 5 From Landmines to Herbs					
			パフォーマンステスト(リテリングテスト)					
	10月	考査実施	Lesson 6 Murals－The Power of Public Art					
			リスニングテスト					
	11月	/	Lesson 7 “Englishes” in the World					
			Lesson 8 Deepika Kurup－The Science Behind Clean Water					
12月	考査実施	リスニングテスト						
		冬休み学習指導						
(3学期)	1月	/	冬休み課題確認テスト					
			Lesson 9 The World's Poorest President					
	2月	/	Lesson 10 Living in an E-Society－The Pros and Cons					
			パフォーマンステスト(リテリングテスト)					
	3月	考査実施	リスニングテスト					
学年末学習指導								

科目名	論理表現Ⅱ	単位数	2単位	学年	2年	コース	進学	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression ⅡHOPE 啓林館							
副教材・参考書	Vision Quest English Logic and Expression ⅡHOPE WORKBOOK、Vision Quest 総合英語 3rd Edition							
授業の到達目標	「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化する活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。							
授業内容・進め方	各レッスンの文法項目や機能表現を学習し、確認練習を行う。また、レッスンの題材に合わせたエッセイライティングやパフォーマンステストを随時行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査、単元テスト							
	【思考・判断・表現】 定期テスト、パフォーマンステスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 定期考査、Writing 課題、ワークブックの活用							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	Lesson 1 将来の目標【適切な主語を用いる】【文と文をつなぐ】					
			◎Essay 提出①					
	5月	考査不実施	Lesson 2 学校生活【適切な動詞を用いる】【パラグラフの基本構成・列挙、順序】					
			Lesson 3 スポーツ【時を表す】【例示・追加】					
	◎パフォーマンステスト①							
	6月	/	Lesson 4 情報化時代【義務・必要・推量を表す】【比較・対照】					
			Lesson 5 環境問題【情報を加える①】【原因・理由・結果】					
◎Essay提出②、パフォーマンステスト②								
7月	考査実施	Lesson 1～5の復習						
(2学期)	9月	/	Lesson 6 文化【情報を加える②】【主張や理由の根拠を示す】					
			Lesson 7 言語教育【情報を加える③】【リーディングの要約】					
	◎Essay 提出③							
	10月	考査不実施	Lesson 8 社会【情報を伝える】【リスニングの要約】					
			◎パフォーマンステスト③					
	11月	/	Lesson 9 願望【条件と仮定を表す】【スピーチ】					
			Lesson 10 科学技術【数量を表す】【プレゼンテーション】					
◎Essay提出④、パフォーマンステスト④								
12月	考査実施	Lesson 6～9の復習						
(3学期)	1月	/	Lesson 11 健康【比較を表す】【ディベート】					
			◎Essay 提出⑤					
	2月	/	Lesson 12 ビジネス【否定を表す】【ディスカッション】					
			◎Essay提出⑤、パフォーマンステスト⑤					
	3月	考査実施	振り返り					

科目名	家庭基礎		単位数	2単位	学年	2年	コース	進学	必修
教科書	実教出版 家庭基礎 気づく力築く未来								
副教材・参考書	生活学Navi資料＋成分表2024 ビジュアルクッキング								
授業の到達目標	家族・福祉・衣食住・消費生活・資産形成などについて主体的・協働的な学びを通じて、知識・技能の習得と生活の充実・向上を図る力と実践的な態度を身につける。現在の生活課題の解決と将来を見通した生活設計を行い、自立への道筋を考えられるようになる。								
授業内容・進め方	家庭・消費生活・住生活・食文化・栄養素・保育・衣生活などの学習について、必要に応じて実習・グループワークを行いながら、プリントを用いて学習を行う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査、パフォーマンス等により評価する								
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、課題等により評価する								
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、行動観察、授業態度、提出物等により評価する								
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4：3：3を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	1章「これからの人生について考えてみよう」						
			2章「自分らしい生き方と家族」 自立と共生、家族と法律						
	5月	考査不実施	9章「消費行動を考える」 消費行動と意思決定、現状と課題、権利と責任、ライフスタイルと環境						
			10章「経済的に自立する」						
	6月	/	家計と経済の関わり、ライフプランニング						
			8章「住生活をつくる」 住まいを計画する						
	7月	考査実施							
(2学期)	9月	/	6章「食生活をつくる」 私たちの食生活、栄養と食品の関わり、食品の選び方と安全、これからの食生活 調理実習①						
	10月	考査不実施	7章「衣生活をつくる」 衣服素材の種類と特徴、衣服の手入れ						
	11月	/	4章「高齢者とかかわる」 高齢社会の現状と課題、支えるしくみ						
12月	考査実施								
(3学期)	1月	/	3章「子どもとかかわる」 子どもの発達、子どもの生活、子どものための社会福祉						
	2月	/	5章「社会とかかわる」 共生社会を生きる						
3月	考査実施								

科目名	総合的な探究の時間	単位数	1単位	学年	2年	コース	進学文系	必修	
教科書	敬天愛人への歩み「天」「愛」のステージ								
副教材・参考書	エナジード Vol.3								
授業の到達目標	エナジード教材を通して、「他者視点」を持ちながら「自分で考え、動く力」を身につける。「天」のステージ『自己を律し、目標へ向かう』、「愛」のステージ『今生きている世の中を知る』。各市区町村の広報誌の分析とフィールドワークを通して、SDGsの視点から課題を発見し、課題解決案を提案する「InageImage II」を行い、下の学年にも発表をする。								
授業内容・進め方	グループで取り組み、他者とのかかわりや地域でのフィールドワークにより地域社会の課題を発見し、アクションを起こす。プレゼンにおいてはどうやったら思った通りに人に伝わるかを意識し進めていく。探究活動の楽しさを知り、卒業探究に取り組むための姿勢を形成する。								
観点別評価の方法	【知識・技能】								
	【思考・判断・表現】								
	【主体的に学びに向かう態度】								
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝：：を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	11	オリエンテーション					
			18	【1】エナジードVol.3 Lesson 01 他者の感覚に気づく力					
			25	校外学習					
	5月	/	9	エナジードVol.3 Lesson 02 他者視点で発案する力					
			16	エナジードVol.3 Lesson 03 他者と共に実現する力					
			23	中間考査週					
			30	【2】Inage Image II ①グループ開き、概要説明、アイスブレイク					
	6月	/	6	②広報誌分析(地域の活動&魅力を探す) #1					
			13	③広報誌分析(地域の活動&魅力を探す) #2					
			20短	④フィールドワーク計画#1					
			27	⑤フィールドワーク計画#2					
	7月	/	4	期末考査週					
			11短	⑥フォトジャーナリスト藤原亮司氏講演					
(2学期)	9月	/	5	敬学祭準備日					
			12	⑦夏休みフィールドワークの整理#1					
			19	⑧夏休みフィールドワークの整理#2					
			26	⑨フィールドワークの報告会					
	10月	/	3	【3】敬愛学園×HAKUHODO		①敬愛学園×HAKUHODO #1			
			10			②敬愛学園×HAKUHODO #2			
			17	中間考査週					
			24	④敬愛学園×HAKUHODO #3					
			31	⑤敬愛学園×HAKUHODO #4					
	11月	/	7	⑥敬愛学園×HAKUHODO #5					
			14	⑦敬愛学園×HAKUHODO #6					
			21	⑧敬愛学園×HAKUHODO #7					
			28	期末考査					
12月	/	5	修学旅行						
(3学期)	1月	/	9	【2】Inage Image II ⑦成果物のまとめ(敬愛学園×HAKUHODO)					
			16	入試業務日					
			23	⑧成果物のまとめ(1学年へ発表会へ向けて)					
	2月	/	30	⑨2学年より1学年へ発表会					
			6	【5】卒業探究に向け①説明、プレスト、マンダラート					
			13	②マンダラート、「読むべき本を探そう」					
			20	③探究テーマの設定 #1					
			27	①探究テーマの設定 #2					